

かまどしぼちごりんとう
竈門氏墓地五輪塔

野田 野田自治会

県指定有形文化財（建造物）

昭和 50 年 3 月 28 日指定

羽室御霊社の神殿左側に立つ3基の五輪塔。いずれの塔も水輪の4面に種子を葉研彫りしてある。右側の1基は、総高 2.09 m。地輪の正面中央に三行にわたって「嘉元四年^{丙午}正月廿一日沙弥道善」（1306）の銘が刻まれ、左側の総高 1.95 mの五輪塔にも「暦応二己卯六月廿八日」（1339）の銘があるといわれるが（日名子太郎『大分県金石年表』より）現在は磨滅して読めない。中央の1基は総高 2.21 m、2重の基礎^{こうざま}上にあり、上重は2区に別れ格狭間を刻んである。これは他の2基と較べて不自然で、左後方の国東塔の基礎であったのではあるまいか。各輪の4面には金剛界の梵字（種子）が刻まれ、笠は照屋根で軒口は一重、外向きに反りをみせ安定感がある。鎌倉末期の作。



（小玉 洋美）